

成果検証報告書

【成果指標の達成状況】

成果検証実施年度 令和3年度

市町村名	蕨市					
提案事業名	蕨市市制施行60周年を契機とした まちの魅力発信とシビックプライド醸成事業					
事業期間	令和元年度 ～ 令和元年度					
成果指標	(成果を検証する指標) 蕨市に「自分のまち」としての愛着を感じていると思う市民の割合					
	(成果検証の具体的な方法) 毎年実施している市民意識調査で把握					
	(成果の目標値に対する実績)			達成度	C	
	従前値 (H30年12月時点)	73.30%	目標値 (R2年12月時点)	75.00%	実績値 (R2年12月時点)	71.40%
	(施設建設等の場合の実績)					
	年間利用者数 (人)	(目標) (実績)		稼働率 (%)	(目標) (実績)	
住民への公表状況 及び特記事項						

【事業効果の整理・原因分析】

令和元年度 構成事業

構成事業名	事業効果	事業効果の概要及び原因分析
① 市制施行60周年記念事業	○	市制施行60周年記念事業として、11月の記念式典をはじめ、苗木市・藤まつりと同時開催したオープニングセレモニー、NHKの「ラジオ深夜便」やテレビ東京の「開運！なんでも鑑定団」の公開収録、協働事業提案制度による市民の皆さんとの協働事業、市民団体等による冠事業などを実施した。事業を通じて、蕨の地域資源や魅力を大いに活用しながら、各種記念事業を市民の皆さんとともに作り上げたことで、蕨への愛着や誇りの醸成が図られたとともに、本市の未来に向けての新たな節目とすることができた。

【成果検証の総括・改善策の検討】

実施事業について 十分に成果が認められた点	60周年記念事業として、年間を通じて約90事業を実施することができた。主な企画の参加者・出席者は、オープニングセレモニーが約300人、記念式典が720人、「開運！なんでも鑑定団」の公開収録が653人などとなり、市民との協働による各種事業の展開を通じて、行政・市民がともに市の魅力について考える契機となり、一体感の醸成や一層のシティプロモーションの推進を図ることができた。
実施事業について 成果が不十分である点	新型コロナウイルス感染拡大の影響等による一部事業の中止や市民生活への不安感の増大などから、事業効果を成果指標の実績値に十分に反映することができなかった。
成果検証を踏まえた 今後の改善策	上述の成果を今後の本市のまちづくりに生かしていくとともに、60周年記念事業の一環として製作したPR素材（マスコット縫いぐるみ、ビッグフラッグ）については、一過性の活用に留まらず、機会を捉えた継続的な活用等を通じて、まちへの愛着の醸成やイメージアップの向上につなげていく。